

2025 第 10 回 きもの知識検定 結果報告と総評

実施日 令和 7 年 11 月 3 日

受験者数 初級 20 名 (美容学校生卒の受験数は除く)
中級 15 名

受験結果報告

平均点 初級 78.2 点
中級 74.0 点

※各地区平均は合格者一覧をご参照ください

合格者 初級 12 名
中級 13 名
不合格者 初級 8 名
中級 2 名

試験総評

第 10 回「きもの知識検定」を受験していただきました皆様に心から敬意を表しお礼申し上げます。
本きもの知識検定は、初級では、きものを軸として広範囲に地域の生活文化を見つめ通過儀礼というしきたりを理解し実践することを、中級では、美しい日本の風土と自然に育まれた土地の産物と歴史を知識として咀嚼し、きもの文化を伝えつなぐアンバサダーを育てる事を目的としております。
また一般の着物教養を培うことの他に、着物業や着付け業などにおける、接客および指導をふまえた観点からの基礎力も養えることを、特徴としています。

きものを生活文化として持続させることが難しい現代に、着物のことを知ることで、きもの×他業種という発想をお持ちいただき、何らかの発展につながれば幸いと願っております。

以下に今年度の試験総評をまとめておりますので、各位ご確認いただきご自身の結果を振り返る参考になさってください。

初 級 受験される方には、本検定の意図をお汲み取りいただいていると感じます。

特に、見出しにかかる基本知識（着物の種類、帯の種類、季節の装い）は良く理解されているようでした。一方で、日常に関係の深い装いの TPO やコーディネートにかかる出題について、不正解者が多くみられたことに戸惑いました。現代では感覚的なニュアンスやファッションスタイルにより多様なアレンジがありますので、ファッションとして自分らしく装うことも含め、祖先が人を想い、家族を想いつなげてきた通過儀礼を、是非さまざまな角度から見つめてみてほしいと思います。

中 級 初級の問題をベースに服飾の歴史や織りや染め、地域の文化まで網羅した出題でした。初級を 70 点以上で通過された方には難しくはなかったと思われます。

総体的には、文様の仕分け（各文様の特徴と種類）、服装史といった、テキストを熟読したり記憶が要される問題について不正解が多かったです。中級は、染と織、歴史が中心となるカテゴ

リーから出題されることはお伝えしてありましたので残念でした。

合格者は今後、きものアンバサダーの称号を得てより接客や指導に自信をもって臨まれること
と思います。ご自身の専門分野の研鑽に励んでいただき、次は指導員として後輩の育成に寄与
されますことに期待を寄せております。

最後になりますが、一言。

インバウンドの時代、海外の方々の視線は広く日本文化に向いています。私たち日本人はなぜきものを
着るのか、きものから何を不得どう自分自身を変えていくのか、またその表現としての美と精神美を改
めて考えて、ご自分なりのきもの文化を発見して頂きたいと願います。

きもの知識検定をご受験くださいました皆様方に心からお礼を申し上げますと共に、皆様のまわりの
方々がよりきものに慣れ親しんでいただけますことを祈念して今年度の総評とさせていただきます。